



うきしまちく 浮島地区農地・水・環境保全管理協定（静岡県沼津市） ぬまづし

- 本地域は、希少な湿原植物が生育し、「静岡県版レッドデータブック2004」では、“今守りたい大切な自然”の1つに挙げられているが、遊休農地の有害植物の繁茂や、工事残土の不法投棄で、地区目標の「住んでよかった浮島・住みたい浮島」に向け、環境や農地の保全が必要となっていた。
- NPO法人と連携し、遊休農地や不法投棄場所にひまわりを植栽し、開花時期には、ひまわり祭りを開催している。また、中日本高速道路(株)と連携し、ヨシの刈り取りなどを実施。
- これにより、遊休農地2,000m²の解消や、地域の子どもの環境教育の機会を提供する他、都市住民との交流や、高速道路SAでの農産物の直売などに発展している。

【地区概要】

- ・取組面積:85ha（田74ha、畑11ha）
- ・資源量 水路15.2km、農道16.2km
- ・主な構成員
農業者、非農業者等
- ・交付金 約7百万円(H29)

農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 希少な湿原植物が生育し、「静岡県版レッドデータブック2004」では、“今守りたい大切な自然”の1つに挙げられている。
- 農業者の減少・高齢化により遊休農地が発生し、希少種を脅かす有害植物が繁茂。また、工事残土の不法投棄などで、地区の環境悪化が懸念。
- 地区目標に掲げている「住んでよかった浮島・住みたい浮島」に向け、環境や農地の保全が必要。



浮島沼の景観

取組内容

- NPO法人と連携し、景観向上・環境保全活動を実施。
 - ・ 景観向上活動として、遊休農地や残土の不法投棄場所に、地域住民等とともに1万5千本のひまわりを植栽。「**浮島ひまわりらんど**」として造成。
 - ・ 古城社内の湧水を活用したイベントを開催し、水源確保などの環境教育の場を提供している。
- 県の行う「一社一村しずおか運動」により、中日本高速道路(株)とともに、「ヨシの刈り取り」等の交流イベントを実施。



浮島ひまわりらんど



企業と連携したヨシの刈り取り

効果、課題、今後の展開

- NPO法人との連携
「浮島ひまわりらんど」の造成により、以下の効果が発現している。
 - ・ 遊休農地3,000m²を解消。
 - ・ ひまわりのフォトコンテストを開催し、市内外から約700人/年が来場。
 - ・ 地元農産物の販売と組み合わせ、地区外の住民との交流イベントとして発展。
- 中日本高速道路(株)との連携
 - ・ 「稲刈り体験」などに、毎年、社員や親子など都市住民30人程度が参加。
 - ・ 共同活動をきっかけに、高速道路SAでの地元農産物の直売を行うようになった。